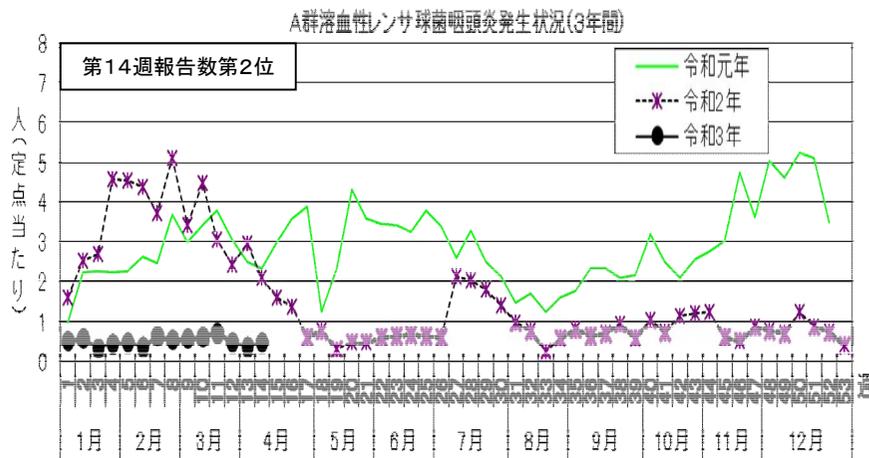
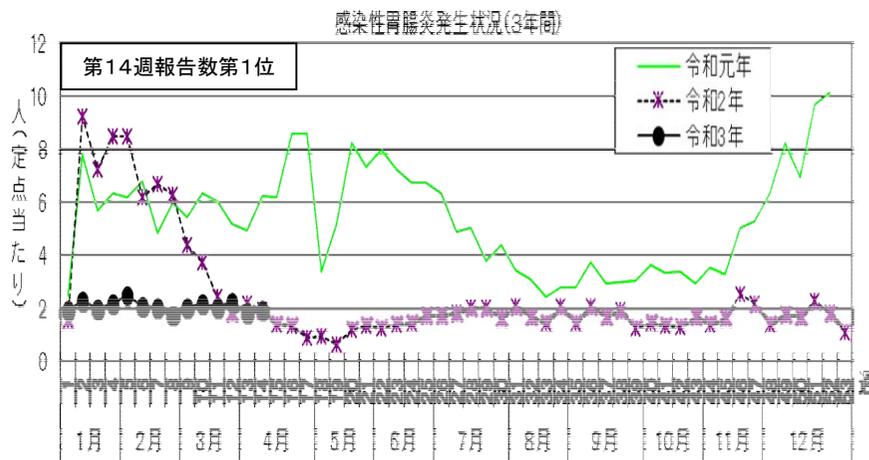


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年4月5日（月）～令和3年4月11日（日）〔令和3年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.89人と前週（1.83人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.47人と前週（0.36人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.44人と前週（0.39人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



E型肝炎に御注意ください！

川崎市における令和3年のE型肝炎の報告数は、第14週（4月5日～4月11日）までに計5件あり、過去5年間と比較して最多となっています。

E型肝炎は、主にウイルスに汚染された食物や水などを摂取することで感染しますが、感染から発症までの潜伏期間が長いので、感染源の特定に至らない事例も多くみられます。

全国的には、生又は加熱不十分の豚や野生動物の肉などが感染原因と推定される事例が複数報告されているため、生肉の喫食は避け、肉や内臓肉は十分に加熱してから食べましょう。

E型肝炎とは？

【病原体】

E型肝炎ウイルス（遺伝子型1～4型）

【潜伏期間】

15～50日（平均6週間）

【主な症状】

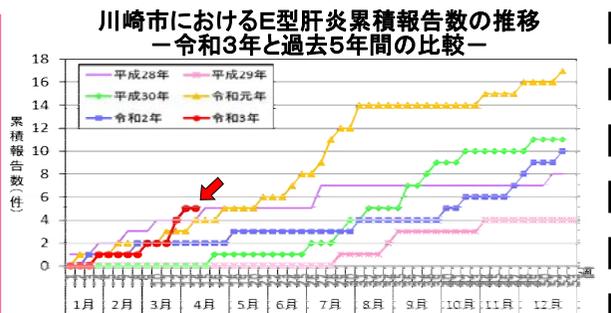
発熱、悪心、食欲不振、腹痛などの消化器症状、全身倦怠感、黄疸など

【主な推定感染原因】

生又は加熱不十分の肉等（豚レバー、豚肉、鹿肉、イノシシ肉など）の喫食

【治療】

特異的な治療はなく、対症療法が中心



- ✓ E型肝炎は不顕性感染が多く、発症しても時間とともに改善し、劇症化することは稀です。
- ✓ 妊婦が感染すると劇症肝炎になりやすく、致死率が20%に達することがあるといわれています。